

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①令和4年度導入した教育課程を検証し、共通及び専門教科の学力向上と課題解決能力を育むことで専門性の向上を図る。</p> <p>②生徒の主体的な行動を促し、生徒会活動や農業クラブ活動を充実させる。</p>	<p>①令和4年度導入した教育課程を検証する。共通教科及び専門教科の全教科で課題解決型学習習得の実践を行い、生徒の課題解決型学習能力の向上を図る。</p> <p>②特別活動の魅力伝えるとともに、生徒の意欲を引出す。生徒会活動や農業クラブ活動でプロジェクト学習法を習得し、課題解決能力の向上を目指す。</p>	<p>①研究授業や授業観察での振り返りを活用し、全ての教科において年間を通して最低1回、課題解決型学習を伴う授業実践を行う。</p> <p>②地域貢献活動や各種発表会の機会を積極的に紹介し、活動への参加に向けて具体的な道筋を示す。プロジェクト学習法の定着から専門研究部での応用研究に発展させ、各種発表会等への参加を目標とする。</p>	<p>①実践した課題解決型授業について、職員による相互評価並びに生徒による授業評価から課題解決能力の向上が見られたかを確認する。</p> <p>②各種大会や競技会への参加及び地域貢献活動において、前年度の活動実績を上回ることができたか。</p>					
2	生徒指導・支援	<p>①基本的な生活習慣を確立・定着させるとともに、規範意識の醸成を図り、ホームルーム活動や部活動を通して、豊かな人間性、社会性を育む。</p> <p>②インクルーシブ教育の視点にたった生徒一人ひとりの個性や状況に応じた生徒指導と生徒支援の両立を目指しながら、体制の充実を図る。</p>	<p>①正門や昇降口での登校指導をはじめとして日常的な生徒への声かけに努め、基本的な生活習慣の確立と自己管理能力の定着を図る。</p> <p>②インクルーシブ教育の視点にたった生徒一人ひとりの個性や状況に応じた生徒指導、支援体制の充実を図る。</p>	<p>①身だしなみや交通安全、時間を意識した生活習慣を身に付けさせるため、家庭とも緊密に連携し、HR活動、授業、課外活動等のあらゆる場面ですべての教職員による生徒への支援を行う。</p> <p>②生徒支援体制の充実に向け、教育相談やサポートドック等を活用し、SC・SSWと情報共有してスクリーニング会議、プッシュ型面談を実施する。また、えびな支援学校のセンター的機能を活用する等、個々の教育相談の機会と充実を図る。</p>	<p>①多様性に配慮しつつ、適時適切な指導が実施できたか。身だしなみや遅刻に係る状況に改善の傾向が見られたか。</p> <p>②生徒支援体制を軸にした教育相談における実施状況、生徒情報の共有が適切に行えたか。また、えびな支援学校の巡回指導やカウンセリングにおいて生徒をどのように指導できたか。</p>					

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	<p>①体験的学習を重視し、勤労観・職業観を育成し、進路指導の充実を図る。</p> <p>②社会的自立に向けた教育の充実に取り組む。</p>	<p>①勤労観・職業観を育成するため、農業体験活動並びにインターンシップ活動の充実を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりの進路実現に向けた進路説明会・進路別ガイダンスを計画的に行う。</p>	<p>①勤労観・職業観の意識向上を目指し、協力企業・農家へのアプローチや生徒の事前指導を徹底する。</p> <p>②面談等を通じて生徒一人ひとりの進路希望を把握し、実現に向けたサポートを全職員で実施する。</p>	<p>①農業体験活動やインターンシップ活動等への参加者が増加したか。</p> <p>②個別に丁寧な進路指導を行い、生徒の希望どおりの進路実現が図れたか。進路別説明会が計画どおり実施できたか。</p>					
4 地域等との協働	<p>①学校の教育力(農業)を活かし、地域との協働・連携を一層強化することによって魅力ある農業の発信拠点となる。</p> <p>②えびな支援学校との連携・交流をとおして、インクルーシブ教育の推進を図り、いのちや人権を尊重する精神を育む。</p>	<p>①産業界との連携を進め、農業教育を活かした本校の活動を地域に発信し、地域との協働活動を推進する。</p> <p>②えびな支援学校との連携・交流を様々な場面でを行い、インクルーシブ教育への理解を深める。</p>	<p>①デュアルシステムやインターンシップ、農業体験、農業クラブ校外活動を積極的に進め実践させることにより、地域や社会の発展を支える意識と態度を身に付けさせる。</p> <p>②学校農業クラブを中心にえびな支援学校と農福連携授業を展開し、動植物との触れ合いを通してインクルーシブ教育を深める活動を展開する。</p>	<p>①地域からの要望を踏まえつつ、地域との連携・協働活動の文化が途切れたところを修復できたか。前年度実績を上回ることができたか。</p> <p>②えびな支援学校との連携・交流を通して、参加した生徒の意識が変容したか振り返りアンケート等を実施する。</p>					
5 学校管理 学校運営	<p>①事故・不祥事防止の徹底を図り、生徒にとって安全・安心そして信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>②学校施設環境を整備するとともに有効活用を行い、魅力ある学校づくりを進める。</p>	<p>①風通しの良い職場づくりを意識し、同僚性を高め、当事者意識を持つことにより、事故・不祥事防止の徹底を図る。</p> <p>②学校施設環境の整備を推し進め、最新の施設と設備のもと魅力ある教育内容の充実を図り主体的に学ぶ意識を高める。</p>	<p>①人権を意識する校長メッセージの発信及び校内研修を定期的の実施するとともに、生徒に対して、学年・教科等と連携し、必ず複数の職員対応する体制を整える。生徒の主体性を引き出す指導を行い、強制的な指導にならないように努める。</p> <p>②課題となっている生徒更衣室の整備等生徒にとって快適な学習施設環境を整備する。実験・実習において農作業器具等の取扱基準を順守し、事故をゼロにするよう取り組む。</p>	<p>①生徒の支援体制における情報共有が確実になされたか。職員の業務分担が明確にされ、かつグループ業務が計画どおり実施できたか。</p> <p>②安全・安心な学習環境の整備が行えたか。また、施設設備が有効に活用されたか。実験や実習での事故防止ができたか。</p>					